



例会: 毎週水曜日 12:45~ 例会場: 勇屋会館 事務所: 安曇野市豊科 4312-6 奥村ビル2F

RI テーマ

TEL: 0263(73)2901 FAX: 0263(72)3181 E-mail: [azumirc@poppy.ocn.ne.jp](mailto:azumirc@poppy.ocn.ne.jp)

会長 小穴 実 幹事 藤森 康友

R.I 会長 ゴードン R. マッキナリー ガバナー補佐 場々 洋介



世界に希望を生み出そう

クラブ標語 【 クラブに希望を生み出そう 】

《青少年奉仕月間》



## ★ 配布・幹事報告号 No.33

## ★ 会長挨拶

【小穴会長】

皆さんこんにちは!

本日はオンライン例会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

行ってまいりました!ロータリークラブシンガポール国際大会に場々ガバナー補佐他 RI2600 地区から総勢 50 名を超えるメンバーで参加しました。この 50 名を超える規模での国際大会への参加は 2600 地区としては初めてだそうです。今までで多かったのは一昨年のハンブルグ大会だったそうで 22 名のガバナーナイト参加でしたとのこと。コンラッド・シンガポール・オーチャードホテルのミシュランの星を獲得した頤和園(Summer Palace)にて行われた地区ガバナーナイトには、折井ガバナーご婦人をはじめ多くのご婦人たちも参加いただき、大変にぎやかな宴席となりました。

私は地区幹事の国際大会参加ツアー団とは別口で、24 日金曜日夜(入国時は土曜日でしたが)に隣国マレーシアのクアラ Lumpur 空港に入り、空港隣接のホテルにて一泊後翌昼頃にシンガポールに入りました。今回は空港に登録所はなく本会議場にあるとのこと。空港からは Grab(日本では完全に自由化はされていない個人乗り合いタクシー)を利用してリトルインディアにあるホテルに入り、そこから会場であるサンズ エキスポ&コンベンションセンター至近の地下鉄 Bayfront 駅まで、ダウンタウン線 4 駅と非常に便利なホテル選択でした。

ほとんど不自由なく過ごせた 3 日間でしたが、来年はカナダ・カルガリー、再来年は台湾・台北、その翌年はハワイで世界大会が開催されます。台北、ハワイは是非とも皆さん今から積立して一緒に行きましょう。

ただ円安はきつかった! 10,000 円で S\$85、お土産が

買えない!! 空港でマーライオンチョコレートと 帰りの機内でプレミアム焼酎をゲットしましたので、納会で皆さん吞んでください!

開会式前日のコンベンションセンターは世界各国からのロータリアンで溢れ返り、誰とも友人感覚で笑顔で挨拶しておりました。(写真)



開会本会議前日、会場前の看板で皆さんおもしろいおもしろい記念撮影

空かないのでセルフ撮影



友愛の家





大会場へのエスカレーター



## 開会セレモニー

最後にゴードン R. マッキナリー  
国際ロータリー会長の挨拶



開会式 2 時間前に入場まだほとんどいません



ガバナーナイト 折井ガバナーの挨拶 奥様

伊藤 PG の乾杯の挨拶



開会式直前 ほぼほぼ満席



大会登録者に配布される S\$30 入りのトランジットカード  
2 日間6回ほど乗りましたが S\$24 残っています。  
シンガポールはとにかく公共交通網が安い。



## 幹事報告

【藤森幹事】

別紙参照



## ◇出席報告

| 会員総数 19 名 出席免除会員数 1 名 |                 |
|-----------------------|-----------------|
| 本日の出席率                | 前々回 (5/8 修正出席率) |
| 出席者: 9 名              | 欠席者: 9 名        |
| 欠席者: 9 名              | メ-キャップ: 5 名     |
| 出席率: 50%              | 出席率: 79%        |

## ★本日のプログラム

○会員卓話

【中村会員】

～私の趣味 part2～

ホシハジロ



冬鳥(カモ)

雄は、赤味のある茶色の頭と黒い胸が特徴。全長約 40-50cm。頭頂が盛り上がり、頭部が三角形にみえる。

御宝田



マガンとハシビロガモ

マガン 全長 72cm。翼を広げると 1.4m ほどになる大型の水鳥です。全体が黒っぽい茶色です。日本には冬鳥として渡来し、湖、沼や池でねぐらし、水田で落穂や、草の種子、葉などを食べています。北海道では春・秋に通過する旅鳥です。日本中で記録がありますが、島根県以西では稀です。マガンは、宮城の県鳥です。日本に渡ってくるうちの 70%が、県内の蕪栗沼・伊豆沼の周辺で冬を越します。このあたりは、ハクチョウやガン・カモ類の一大越冬地としても有名です。夜が明けると、数万羽ものガンがいつせいはばたいで、群れになって飛ぶときにつくる隊列「雁行(がんこう)」は、冬の風物詩になっています。秋、サオ(竿)に

なりカギ(鍵)になり、渡ってくるガンは、小さな枝をくわえて海の上を飛び、翼を休めるときはそれを浮かべ、陸につくと浜辺に落とし、あくる年の春、北へ帰るとき、再びその木の枝をくわえて飛んでゆきます。木の枝が残っていれば、そのぶんだけガンが死んで帰れなくなったものだと考え、村人はあわれんで木をひろい、風呂をわかつてガンを供養したといひます。これが、津軽に残る「ガン風呂」の伝説です

ミサゴ



全長 54 - 64cm。翼開張 150 - 180cm。体重 1.2 - 2kg。雄雌ほぼ同じ色彩で、背中と翼の上面は黒褐色、腹部と翼の下面は白色で、顔も白く、眼を通して首に達する太い黒褐色の線が走る。後頭部に小さな冠羽がある。嘴は黒く、脚は青灰色。主に海岸に生息するが、内陸部の湖沼、広い河川、河口等にも生息する。水面をゆっくりと低空飛行し獲物を探す。春・秋の渡りの季節には長野県などの内陸部を移動する個体が観察される。単独かつがいで生活する。食性は肉食性で主に魚類を食べるが、爬虫類、鳥類、貝類を食べることもある。獲物を見つけると素早く翼を羽ばたかせて空中に静止するホバリング飛行を行った後に急降下し、水面近くで脚を伸ばし両足で獲物を捕らえる。今年の4月名古屋の藤前干潟でミサゴが魚をゲットするところを見ました。



ムナグロ

シベリアとアラスカ西部のツンドラで繁殖し、冬季は東南アジアやオーストラリア、インド、アフリカ東部などへの渡りをおこない越冬する。日本へは旅鳥として春と秋の渡りの時期に全国に飛来する。

本州の中部以南の地域では、越冬する個体もある。南西諸島や小笠原諸島では、普通に越冬している。



ヤブサメ

全長 10.5cm。全身はオリーブ褐色の羽毛で覆われる[3]。頭部の羽毛は暗褐色で、眼上部にある眉状の斑紋(眉斑)は明色で明瞭。嘴の基部から眼を通り後頭部へ続く筋状の斑紋(過眼線)は黒い。尾羽は短い。森林や藪等に生息する。鳴

き声は高く、日本語圏では「シシ シ…」と聞こえる。虫の鳴き声に似ている。年を取ると耳が遠くなるのだが、信州野鳥の会ではヤブサメの声が聞こえるかどうかで年を競っている。



中村 浩志(なかむら ひろし、1947 年 - )は、日本の鳥類学者、信州大学名誉教授。一般財団法人中村浩志国際鳥類研究所代表理事。専門はカッコウやライチョウの生態研究。学位は理学博士(1981 年、京都大学)。



ルリビタキ：♀



ルリビタキ：♂

全長 14cm。体側面はオレンジ色の羽毛で覆われ、尾羽の羽毛は青い。

オスの成鳥は頭部から上面にかけての青い羽毛で覆われる。幼鳥やメスの成鳥は上面の羽毛は緑褐色。オスの 2 年未満の若鳥はメスの成鳥に比べて翼が青みがかり、体側面や尾羽の色味が強い。なお、オスの上面が完全な青い色になるまでは 2 年以上かかる。アルプス公園に留鳥として生息しております。



【赤羽副会長より大町 RC60 周年式典出席報告】



## 第44回中信平8クラブ合同親睦ゴルフ大会

開催日:2024年5月19日(日)

会場:穂高カントリークラブ



当クラブからは、笠原明仁会員・丸山慶四郎会員・濱 昭次会員の3名にご参加いただきました。  
お疲れ様でした。